

道外研修に行ってきました

2023年1月10日(火)～11日(水)

SSH 事業の一環として、1泊2日の日程で物質・材料研究機構（NIMS）・筑波宇宙センター（JAXA）・国立科学博物館・理化学研究所に行ってきました。天候にも恵まれ非常に有意義な研修となりました。この経験をこれからの学習や研究活動に生かしていきたいと思います。

NIMS

国内有数の研究所であるNIMSの歴史についてお話を頂いた後、武田泰明氏（若手国際研究センターICYS リサーチフェロー）の研究に関する講演を聞きました。そのあと施設見学を行い、電子顕微鏡や代表的な実験であるクリープ試験機を用いた研究、LED ライトなどの研究に関するお話も伺いました。最先端の研究や技術を身近に感じることができました。



国立科学博物館

特別展「毒」と常設展示を見学しました。見学時間が短かったので、見ることでできなかった展示物がたくさんありました。続きは、それぞれが自分たちで見に行くことを楽しみに会場を後にしました。



理化学研究所

理化学研究所の歴史などについてビデオ視聴後、森田浩介氏（理化学研究所名誉研究員）より、オンラインで二ホニウムに関する講義を聞きました。質疑応答では生徒が積極的に質問し、原子に対する理解を深めました。次に西浦正芳氏（環境資源科学研究センター先進機能触媒研究グループ専任研究員）より研究に関する講義を聞きました。また、実際に研究材料も見せて頂き、最先端の研究に触れることができました。



JAXA

宇宙研究の中心となる JAXA の紹介ビデオを視聴後、バックヤードツアーに行きました。ガイドの説明を聞きながら宇宙服や人工衛星（実機）の見学や ISS 日本実験棟「きぼう」の管制室の様子を見学しました。管制室の見学ではリアルタイムで宇宙とやり取りしている様子を見ることができ、宇宙へ思いを馳せることができました。



研究者、卒業生の講義と座談会

4名の方を講師に迎えて研究に関する講演や座談会を行いました。

講師：石井裕人氏、都丸亮太氏、
佐藤憩氏、田上湖都氏

研究のお話や、高校時代の進路選択などについて講演していただいたあと、座談会を行いました。講師の方々は熱心に高校生と話をして下さって、あっという間に時間がすぎてしまい、名残惜しい中、閉会しました。

